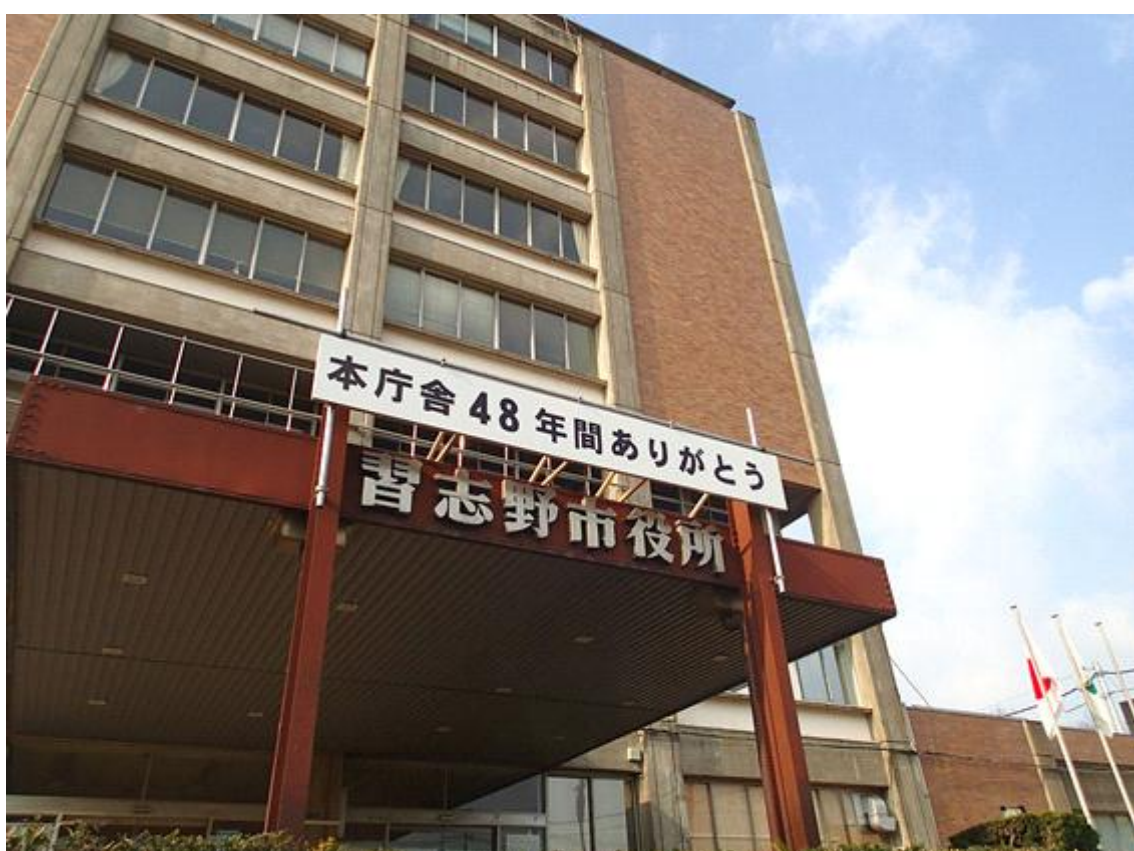


東日本大震災から2年

～復旧・復興の状況と
防災対策の強化に向けて～



 習志野市
Narashino
平成25年3月11日

復旧・復興の状況と防災対策の強化に向けて

あれから2年が経ちました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、これまでに経験したことのない大きな揺れに見舞われ、習志野市は甚大な被害を受けました。市民の皆様には大変なご不便をおかけしましたが、多くの方々のご協力により復旧を進めることができました。

迎えた1年後の昨年3月11日、市内各地で哀悼の意を表し、復旧・復興を願う行事が実施されました。午後2時46分、黙とうを捧げた静寂の時間、習志野市に関わるすべての方々の気持ちがひとつになりました。

今日まで、市では道路等のインフラの復旧・復興を進め、市民の皆様の生活再建の支援等を行うとともに、将来に向けて一段と安全・安心なまちを築いていくため、さまざまな対策を実施してきております。

昨年7月には、各種アンケート調査に基づき「東日本大震災の検証報告書」を作成し、10月には大震災の教訓を踏まえた「習志野市防災対応方針」を策定いたしました。平成25年度には、現行の「習志野市地域防災計画」を具体的かつ実効性のある計画へと修正していく予定です。

今後とも不断の努力を重ね、自助・共助・公助を基本として習志野市全体の防災力の向上を目指してまいります。

本冊子は、2年の節目を迎え、習志野市の復旧・復興の状況と防災対策の強化に向けての取り組みをまとめたものです。

お一人おひとりがあの日のことを改めて振り返り、自ら何ができるのか、いざという時にどう備えるのか、その時どう行動されるのか、お考えいただく機会になれば幸いに存じます。

平成 25 年 3 月 11 日

習志野市長 **宮本泰介**

東日本大震災における習志野市の被害

H25.2.28現在

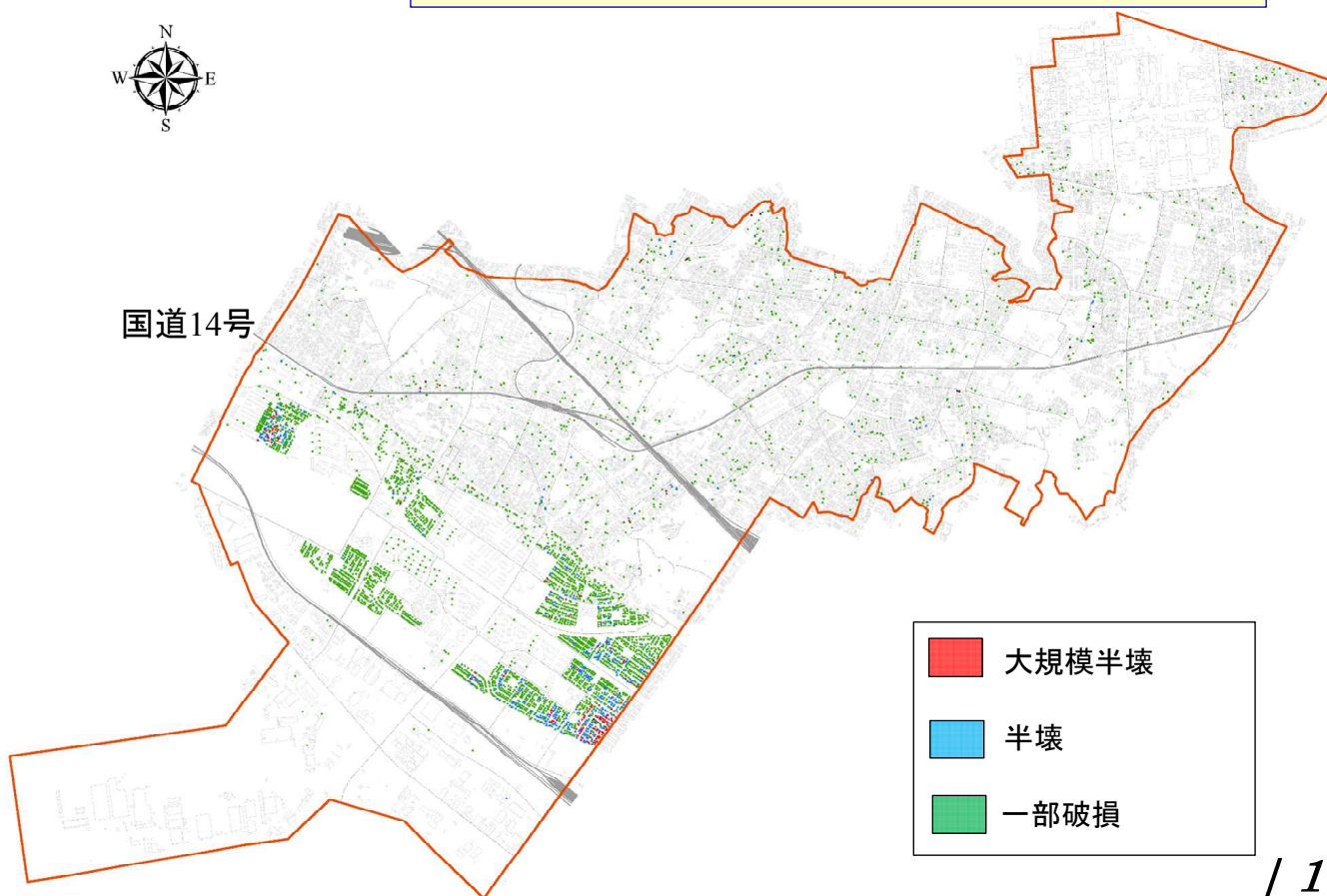
<p>震度</p>	<p>習志野市鷺沼 : 5強(市役所本庁舎横震度計) 震度計観測時刻:午後2時47分32秒</p>	
<p>家屋被害</p>	<p>① 全壊 ② 大規模半壊 ③ 半壊 ④ 一部損壊</p>	<p>9件 176件 540件 4,563件</p>
<p>火災</p>	<p>① 出火件数 ② 焼失数</p>	<p>1件 1件</p>
<p>人的被害</p>	<p>① 死者 ② 負傷者</p>	<p>1人 6人(うち重傷1名)</p>

被害分布

埋め立て地域を中心に市内全域で被害が発生



国道14号



	<p>大規模半壊</p>
	<p>半壊</p>
	<p>一部破損</p>

災害からの復旧



袖ヶ浦地区
隆起した道路

応急復旧作業後



災害からの復旧



香澄地区の
道路陥没

下水復旧工事が継続



災害からの復旧



芝園地区
護岸が崩落

復旧した護岸

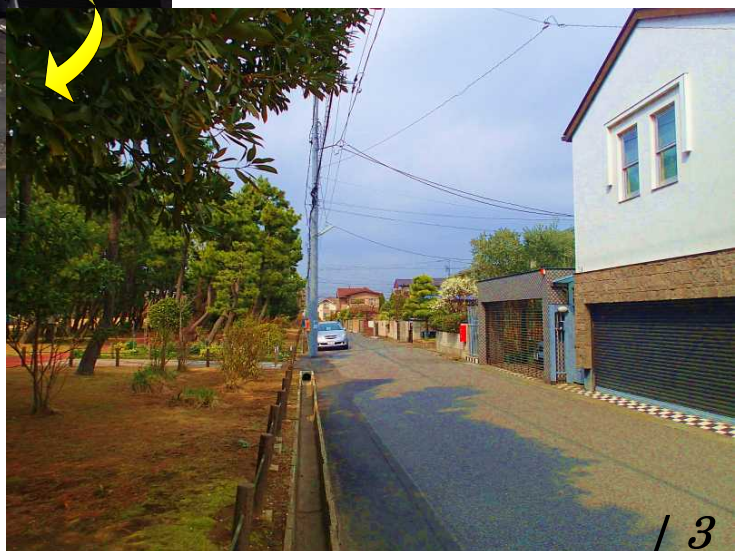


災害からの復旧



袖ヶ浦地区
液状化現象

傾いた電柱を修復



災害からの復旧



震災から約4ヶ月後に撤去完了

菊田川の
簡易処理施設



災害からの復旧

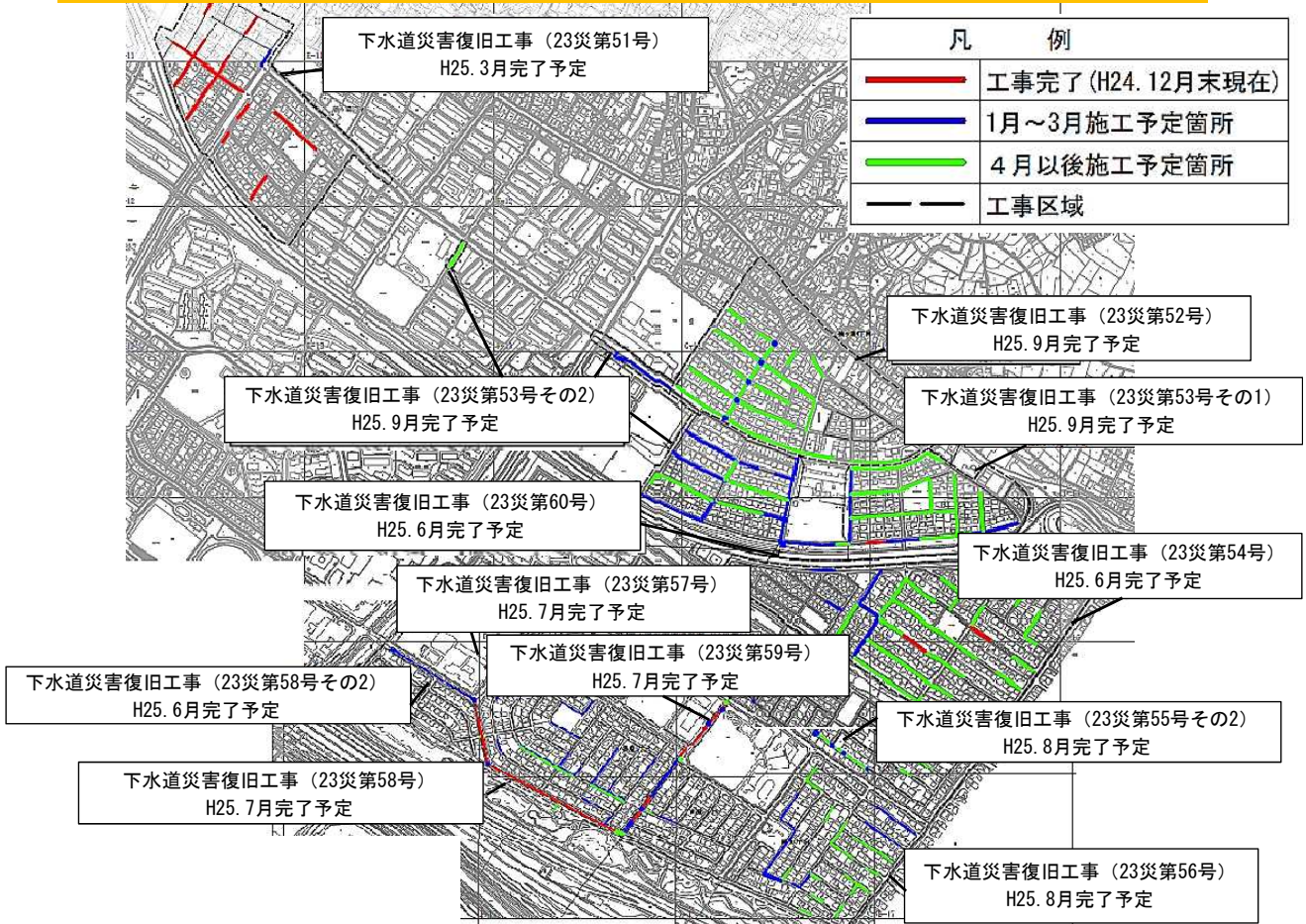


新庁舎建設までの間
仮庁舎で業務を実施

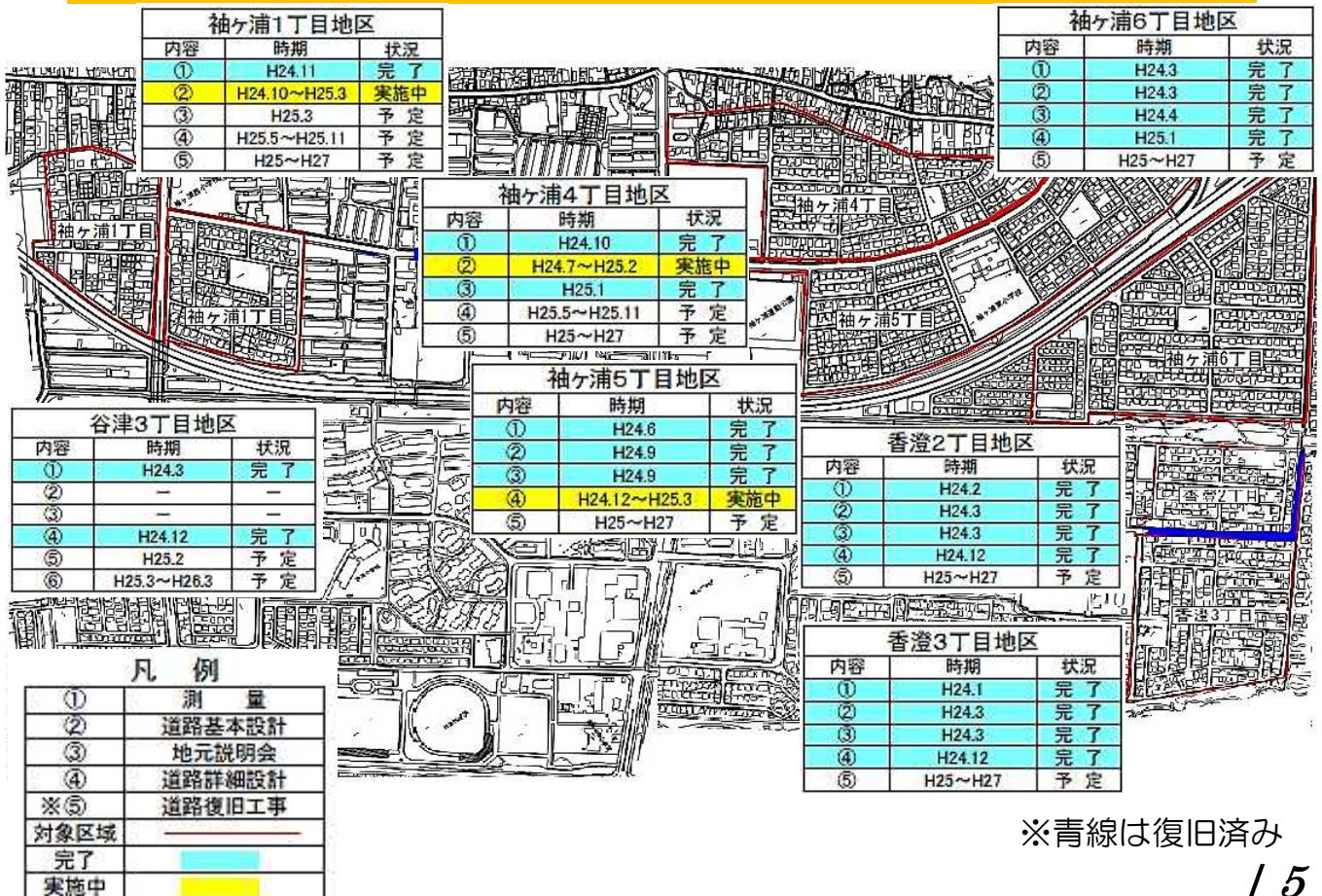
大きな被害を受けた
本庁舎を閉鎖



下水道施設の復旧



道路施設の復旧



復興への取り組み



震災から1年の日に行われた
習志野市商店会連合会主催の
チャリティーイベント

茜浜を拠点とし
ライスボウル3年連続日本一の
アメリカンフットボールチーム
オービックシーガルズによる
募金活動



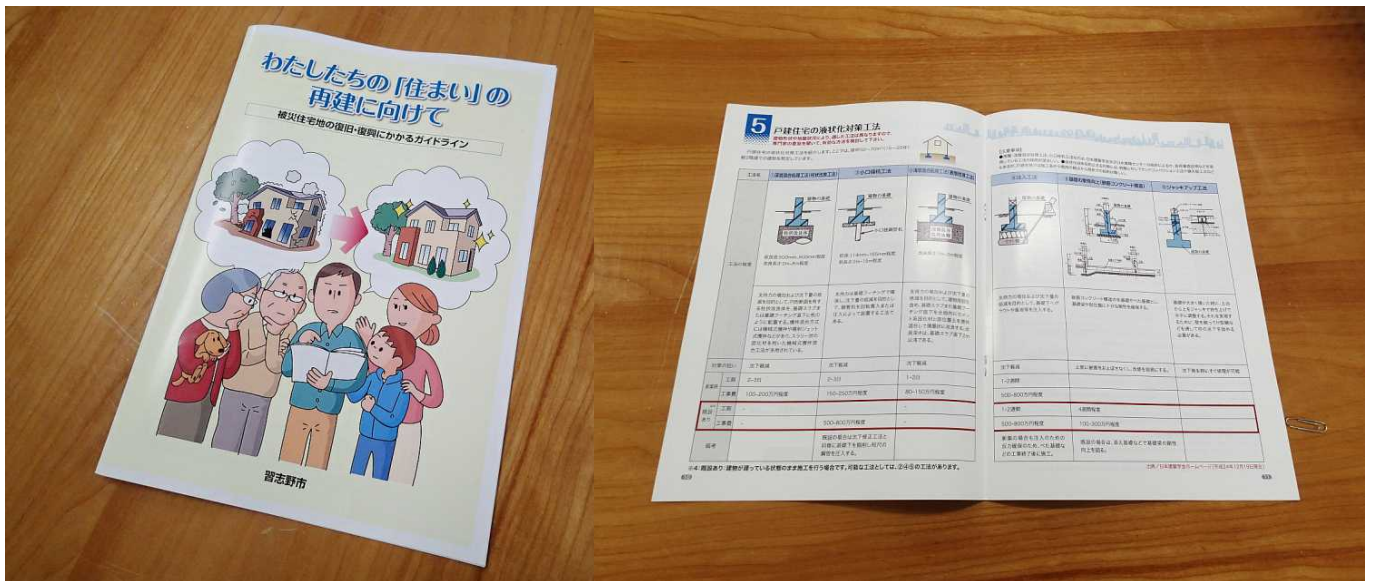
復興への取り組み

復興交付金

事業名	市街地液状化対策事業 平成24年度から27年度
対象事業費	106,295千円(平成24年度から平成25年度)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・被災した地区において地質調査や公共施設と宅地の一体的な液状化対策の施行方法を探る、液状化対策工法概略検討を実施 ・実施後、地質調査、液状化対策工法概略検討にかかる情報を住民の方々へ提供
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から25年度は、地質調査および液状化対策工法概略検討等を実施 ・平成26年度以降においては、公共施設と宅地の一体的な液状化対策に対する住民の方々の意向を確認する予定

復興への取り組み

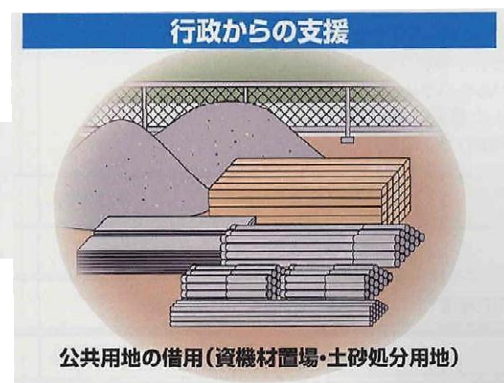
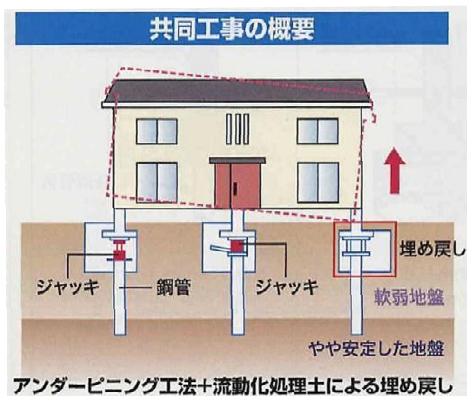
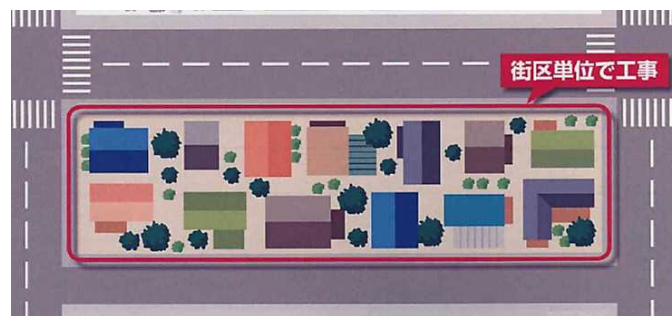
◆被災住宅地の復旧・復興に係るガイドライン



住宅の修復方法や液状化現象に対する備えなどをとりまとめたガイドラインを作成
(平成25年1月)

復興への取り組み

◆住宅修復の取り組み事例 戸建て住宅14戸が共同で工事を実施することで 工事費を約4割削減



防災対策の強化

◆地域防災計画の修正「習志野市防災会議」



【23年度】平成24年3月19日
 【24年度】平成24年12月19日

東日本大震災における課題を整理
 より実効性のある計画へ



防災対策の強化

地域防災計画修正スケジュール

平成23～25年度の3箇年で実施

項目	23年度		24年度												25年度													
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
東日本大震災の検証	■																											
防災アセスメント調査			■																									
地区別防災カルテの作成							■																					
職員向け各種マニュアルの整備							■																					
地域防災計画の策定															■													

平成25年度
 防災体制の見直し完了

防災対策の強化

習志野市防災対応方針の策定(平成24年10月)



東日本大震災検証報告書の作成(平成24年7月)

- 震災での被害や対応状況を整理し、市民や自主防災組織、関係機関等へ実施したアンケート結果の分析を行い『東日本大震災の検証報告書』を作成
- 防災体制見直しの具体的な方針を示した『習志野市防災対応方針』を策定

防災対策の強化

◆新たな取り組み「地区別防災ワークショップ」



平成25年1月中旬から
2月上旬にかけて実施

地域との連携や市民の意見を反映した計画とするため、16の小学校で地区別防災ワークショップを開催



防災対策の強化

◆新たな取り組み「津田沼駅周辺帰宅困難者等対策協議会」



地震発生直後
閉鎖されたJR津田沼駅

多くの帰宅困難者が発生したJR津田沼駅周辺の関係33機関により官民協働で対策協議会を設立（平成24年7月）



防災対策の強化

帰宅困難者対策

<p>第1回協議会 平成24年7月12日（金曜） 10:00～11:30</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 津田沼駅周辺帰宅困難者対策協議会の設立について2. 役員の選出について3. 協議会の取り組みについて
<p>第2回協議会 平成24年10月12日（金曜） 10:00～11:40</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 協議会への新たな参加機関について2. 情報伝達訓練の実施結果について3. 首都直下地震帰宅困難者等対策協議会の最終報告について4. 災害発生時等の各機関役割について
<p>第3回協議会 平成24年11月16日（金曜） 10:00～11:15</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 災害発生時の各機関役割にする意見 について2. 平常時からの帰宅困難者抑制取り組みについて3. 今後の進め方について
<p>第4回協議会 平成25年2月13日（水曜） 10:00～11:10</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 一時滞在施設の指定について2. 平常時からの帰宅困難者抑制等の取り組みについて

防災対策の強化

◆新たな取り組み「避難所開設訓練」



職員による情報収集・伝達の
地区対策支部運営訓練

地域住民が主体となって
実施した避難所開設訓練
(平成24年10月)



防災対策の強化

◆新たな取り組み「応急給水訓練」



震災での水不足を経験し
高まる市民意識

習志野市企業局と連携し市内
3カ所の給水施設で訓練を実施
(平成24年10月)



防災対策の強化

◆新たな取り組み「津波避難ビルの指定・防災倉庫の新設」



芝園清掃工場・津田沼浄化センターを津波避難ビルに指定
(平成24年8月)

平成24年度に防災倉庫を新たに3カ所の小学校へ設置
(香澄・袖ヶ浦東・実籾小)



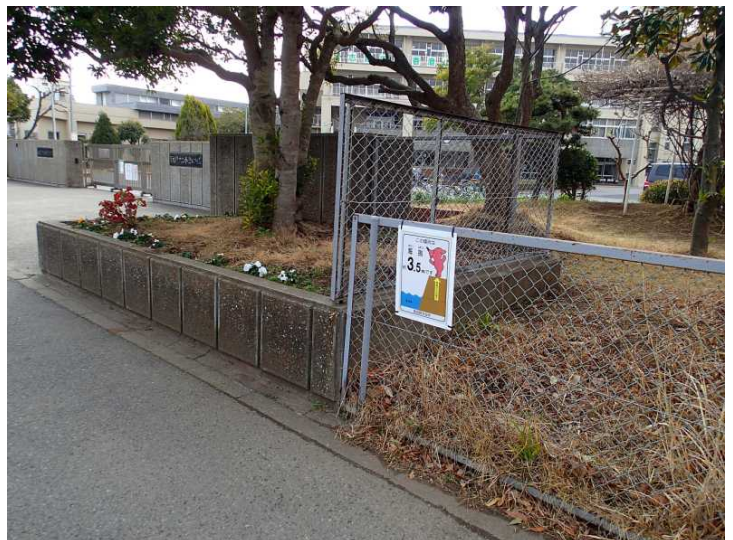
防災対策の強化

◆市内の公共施設に海拔表示板を設置



市内45カ所の公共施設に0.5mごとのおよその値を示した海拔表示板を設置

学校での設置例
(平成24年3月)



防災対策の強化

◆新たな取り組み「災害時相互応援協定」



京都府京田辺市と本市初となる
遠隔地相互応援協定を締結
(平成25年1月)

千葉県行政書士会と
災害時支援協定を締結
(平成25年2月)



被災者への支援

被災者生活 再建支援制度	り災判定やその後の復旧方法に応じて国が支援金を支給 平成25年2月28日現在:415件 384,000,000円
習志野市 液状化住宅等 再建支援制度	国の支援制度を受けられない世帯に対し千葉県と習志野市で助成 平成25年2月28日現在:190件 140,360,000円
千葉県 災害義援金	日本赤十字社、中央募金会等を通じ全国から寄せられた義援金を支給 平成25年2月28日現在:6,604件 487,425,000円
東日本大震災 被災者見舞金	東日本大震災に伴い住家に被害を受けた市民に対し、 習志野市災害見舞金を財源とする見舞金を支給 平成25年2月28日現在:1,764件 30,640,000円
習志野市 災害義援金	市内の被災者支援のため市民から寄せられた義援金を配分 平成25年2月28日現在:6,653件 17,547,000円

発行
習志野市災害復旧・復興本部
(事務局 企画政策部 危機管理課)
平成25年3月11日